

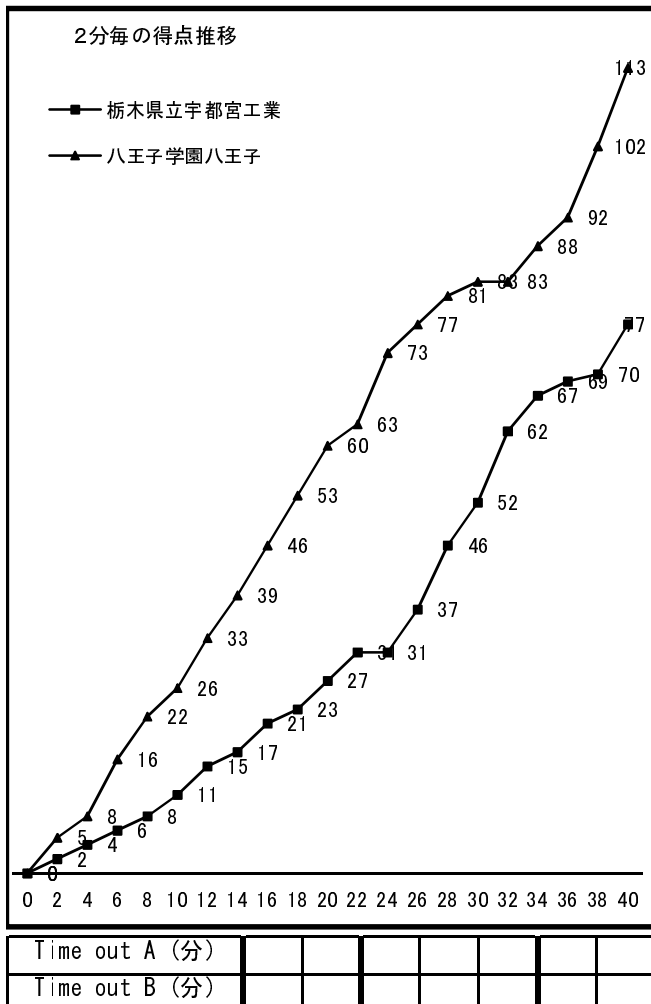
平成26年度 第25回 関東高等学校バスケットボール新人大会

男子準決勝 平成27年2月8日(日) ALSOKぐんまアリーナ 大会2日目 Aコート 第1試合 9:30~																
〈Aチーム〉 栃木県立宇都宮工業 (栃木)	77	{ <table style="margin: auto; border: none;"> <tr><td style="padding: 0 5px;">11</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">26</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">16</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">34</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">25</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">23</td></tr> <tr><td style="padding: 0 5px;">25</td><td style="padding: 0 5px;">-</td><td style="padding: 0 5px;">30</td></tr> </table> }	11	-	26	16	-	34	25	-	23	25	-	30	113	〈Bチーム〉 八王子学園八王子 (東京)
11	-	26														
16	-	34														
25	-	23														
25	-	30														
主審 吉田	第1副審 三好	第2副審 佐田														

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
○	4	稲葉 康平	2		1		2
◎	5	鈴木 翔太	6		3		1
◎	6	小林 大地	4	1		1	1
◎	7	ロンゴ・ウハ・ダニエル	21		8	5	1
◎	8	深田 匠満	18		9		5
○	9	残間 巧人					
◎	10	玉田 有輝	2		1		1
	11	川崎 良					
	12	阿部 夏也					
	13	瀬戸下 竜也					
	14	宮崎 和樹					
	15	北条 大樹					
○	16	渡辺 翔太	22	1	9	1	2
○	17	安納 駿	2		1		
	18	藤井 時生					
コーチ 千村 隆							
			77	2	32	7	13

S	NO	氏名	得点	3P	2P	FT	Foul
◎	4	新屋 広晃	17	4	1	3	3
◎	5	布田 南樹	19		9	1	1
◎	6	竹村 龍	10		5		1
○	7	朴 輝恵	4		2		
◎	8	多田 武史	39	8	7	1	
○	9	根本 拓真					2
◎	10	吉田 麟太郎	4		2		3
○	11	佐藤 杏樹	2		1		
○	12	齋藤 大海					
○	13	川村 僚	7	1	2		3
○	14	佐村 直紀	2		1		1
○	15	伊地知 大智	2		1		
○	16	上地 輝斗					
○	17	勝田 賢汰	7	1	2		
○	18	久松 勇斗					
コーチ 石川 淳一							
			113	14	33	5	14

◎: スターター ○: 出場 3P: 3点シュート (本数) 2P: 2点シュート (本数) FT: フリースロー (本数) Foul: パーソナルファウル



戦評 記入者: 金子 隆

第1P、共にマンツーマンデフェンスで入る。八王子学園はアウトサイドからのシュートを狙い全員でリングを狙う。対する宇都宮工業は#7ロンゴを中心とするセンタープレイで確実に得点を狙う。八王子がアウトサイドからのこぼれ球をリバンドで競り合いながらも良く拾い得点に繋げリードして終わる。第2Pは八王子#8多田のアウトサイドシュートが着実に決まり得点を重ねる。宇都宮工業はアウトサイドからのシュートが決まらず苦戦を強いられるが、#16渡辺の果敢なるドライブからのシュート、味方へのアシストパスが決まり1年生ながら活躍を見せた。しかし、八王子学園は着実に得点を決め点差が開き始め、八王子学園は残り2分でスタートメンバーを下げる。宇都宮工業は粘りを見せるがなかなかペースを掴めずそのまま終了。第3Pで八王子学園はスタートメンバーに戻す。宇都宮工業は前半の攻めとは異なりセンタープレイにこだわらず速攻からのドライブと合わせを中心に行い全員でシュートを狙う。しかし、八王子学園のディフェンスに阻まれ逆に速攻で得点を重ねられてしまう。残り4分で八王子学園はメンバーを交代し宇都宮工業は1年#16渡辺のファインプレイからペースを作り連続して得点を重ねる。特に#16渡辺のドライブと#7ロンゴのセンタープレイが冴えた。第4Pに入り宇都宮工業は2-1-2のゾーンプレスから2-3のゾーンディフェンスに変える。レギュラーメンバーを下けている八王子学園はディフェンスにはまり宇都宮工業のペースで試合が展開された。残り7分で八王子学園はスタートメンバーに戻し、チームを落ち着かせる。宇都宮工業1年#8深田が5ファウルで退場し、リズムを崩すが持ち直し、最後まで粘りを見せたが届かず試合終了となる。